

製品名: BRG1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87316**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW:185 kDa; Observed MW:220 kDa

抗原情報

遺伝子名	BRG1
別名	BRG1; CSS4; SNF2; SWI2; MRD16; RTPS2; BAF190; SNF2L4; SNF2LB; hSNF2b; BAF190A; SNF2-beta
遺伝子 ID	6597
SwissProt ID	P51532
免疫原	ヒト BRG1 の合成ペプチド

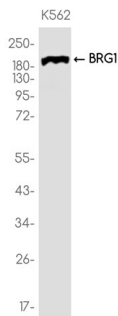
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は SWI/SNF ファミリーに属し、ショウジョウバエのブラフマタンパク質に類似しています。このファミリーのメンバーはヘリカーゼ活性と ATPase 活性を有し、遺伝子周囲のクロマチン構造を変化させることで、特定の遺伝子の転写を制御すると考えられています。コードされるタンパク質は、ATP 依存性クロマチンリモデリング複合体 SNF/SWI の一部であり、通常はクロマチンによって抑制されている遺伝子の転写活性化に必須です。さらに、このタンパク質は BRCA1 に結合するだけでなく、腫瘍形成性タンパク質 CD44 の発現も制御します。この遺伝子の変異は、ラブドイド腫瘍素因症候群 2 型を引き起こします。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2012 年 5 月]

研究分野

-

画像データ



BRG1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した K562 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。